

2011.3.11 あの日 大川小学校で起きたことを忘れない

「春をかさねて」「あなたの瞳に話せたら」

映画上映会・特別トークセッション



『春をかさねて』(2019/劇映画/45分)

震災から1ヶ月が過ぎた、とある被災地。津波で妹を亡くした14歳の祐未は、この経験を発信しようと、次から次へと訪れる記者からの取材に応じていく。一方で、同じく妹を亡くした幼馴染・れいは、東京からやってきたボランティアの大学生へ恋心を抱き、メイクを始める。ある放課後、祐未はそんな彼女への嫌悪感を吐露してしまう。

*震災直後の石巻市大川地区を舞台にしたフィクション。出演者は石巻市や大川の住民を中心に集め、2019年3月に撮影を行った。

監督・脚本：佐藤そのみ

撮影：織田知樹 李秋実

出演：齋藤小枝 齋藤桂花 齋藤由佳里 芝原弘 秋山大地 安田弥央

『あなたの瞳に話せたら』(2019/ドキュメンタリー/29分)

東日本大震災で多くの犠牲を出した“石巻市立大川小学校事故”にまつわるドキュメンタリー。撮影は、震災から8年半が過ぎた2019年12月。大川小で友人や家族を亡くした当時の子どもたちは、あれから何を感じ、どのように生きてきたのか。それぞれが故人に宛てた手紙を織り交ぜながら、自身も遺族である「私」が、カメラを持って向き合う。



監督・撮影・録音・編集：佐藤そのみ

東京ドキュメンタリー映画祭2020 短編部門「準グランプリ」「観客賞」受賞作

イメージフォーラム・フェスティバル2020 ヤング・パースペクティブ2020入選

日時 2024年 2月 10日 (土)

13:15

開場

13:30

開会・作品上映(2本)

15:05

特別トークセッション

16:30

閉会

悪天候等による急な中止は
関東弁護士会連合会HPで
ご案内いたします

特別トークセッション

佐藤そのみ監督の映画に込めた思いや、鈴木典行さんの震災語り部活動を継続する思い、震災から受け継ぐべき教訓などをお聞きます。

進行 永野 海 (弁護士・防災士)

主な執筆「みんなの津波避難22のルール」(合同出版)

「子どもたちの命と生きるー大川小学校津波事故を見つめて」(信山社)等



佐藤そのみさん (映像作家)

1996年、宮城県石巻市出身。大川小学校の津波で二歳下の妹(小学6年生)を亡くす。日本大学芸術学部映画学科在学中に、石巻市で数本の劇映画やドキュメンタリーを自主制作する。



鈴木典行さん (大川伝承の会共同代表ほか)

大川小学校の津波で小学校6年生の次女を亡くす。震災後、「小さな命の意味を考える会」や「大川伝承の会」を立ち上げ、伝承活動に携わっている。

場所 弁護士会館2階 講堂クレオ
東京都千代田区霞が関1-1-3

○地下鉄丸ノ内線 ○地下鉄日比谷線 ○地下鉄千代田線
霞ヶ関駅(B1-b出口)から徒歩1分 ※会館B1に直結

対象 どなたでも(無料)

参加方法 事前申し込み制 [申込フォーム](https://forms.gle/Va2KoaZBirgHYZZN7)

<https://forms.gle/Va2KoaZBirgHYZZN7>

定員 150名

主催 関東弁護士会連合会 TEL 03-3581-3838

